

ひだか 議会だより

HIDAKA GIKAI DAYORI

第149号
平成25年1月31日



日高中3年生による議会傍聴

行政報告	2~3P
審議したこと・決まったこと	4~5P
議員提出議案・陳情・請願	6P
委員会活動	7~9P
一般質問に4氏が立つ	10~13P
議会日誌	14P

行政報告(要旨)



戸梶眞幸村長

第1回さんさん市 検討委員会開催

10月10日に村内関係機関の委員をはじめ、県の産業振興アドバイザー、詳細設計を担当していただく株式会社総合企画設計にも参加いただき、さんさん市の改築やその後の運営方針等について、具体的な検討をしていただく予定をしている。

さんさん市を核として村内の農産物の販路の拡大や新たな加工品の開発、観光発信の拠点、村民の交流の場等々の施設として、幅広く大きな期待をもって取り組み、年度内に方向性を見いだして、県の産業振興推進総合事業の選択に向けて審査を受けたい。

国宝を活用した観光資源の整備について

11月13日に、国宝を活用した観光資源の整備計画策定事業である小村神社レプリカ等検討委員会を開催した。村内関係機関の委員をはじめ県の産業振興アドバイザーの県歴史民俗資料館長、NPO高知文化財研究所の先生や基本設計を担当していただく株式会社上田建築事務所にも参加していただき、国宝や重要文化財を生かす小村神社の知名度を高めることにより、交流人口を増やし観光振興につなげていきたいと考えている。

屋形船拠点整備計画策定委員会開催

12月6日、県アドバイザーのFBTプランニング代表に参加いただき、屋形船を生かした仁淀川の活性化に向けた取り組みの検討を行った。

日下加茂土地改良区の清算結了総代会が開催

10月19日に清算結了総代会が開催された。

昭和50年、51年の大災害を契機に治水対策として、国の直轄事業で放水トンネル等が計画され、日下川、戸梶川の改修が図られることに伴い、河川改修と土地改良事業の体となった事業を推進すべく、日下加茂土地改良区が昭和55年に設立された。土地改良事業は、昭和55年7月より平成5年3月まで、日高村及び佐川町加茂地区の147ヘクタールの農地において県営圃場整備事業として取り組み、これによって、それまで雑然とした区画の圃場が大区画に改善された。

農地の集団化が図られ、用排水の分離と農道網の整備により、機械化作業体系が確立され、合理的な水管理ができるようになるなど、圃場条件が飛躍的に整備され、水稲・野菜等の複合経営に道を開くと同時に関係各農家の農業経営と生産環

境が大きく改善されることとなった。今までの役職員、総代並びに会員の方々のご苦労に感謝したい。

今期の要望活動

10月23日に21世紀・活力ある道づくりを目指す四国連合協議会、11月7日に国道33号整備促進期成同盟会高知県協議会、11月15日、16日に仁淀川改修期成同盟会・四国治水期成同盟会・四国河川協議会、11月20日に土砂災害から人命と地域を守る砂防大会、11月22日に簡易水道整備促進全国大会、国保制度改善強化全国大会、11月29日に安全安心の道づくりを求める全国大会、11月30日に治水事業促進全国大会による県選出国会議員及び本省への要望活動を行った。今後ともインフラ整備の遅れている状況や、地域の実情を訴え、継続した地道な要望活動が必

要であると考えている。

11月2日には、現在実施されている国道33号歩道設置工事の東への延長要望を国土交通省土佐国道事務所へ行った。全体計画では位置付けられているが、具体的に着手されていない状況の中、一定地権者の理解が得られたため、この際に事業に取り組んでいただけよう要望したもので、西への延伸については、住家も多く今後説明等を行い、理解が得られるのであれば要望していきたいと考えている。



小村神社おなばれ

第6回茂平マラソン大会開催

11月25日、県内外より1468人の参加者を得て盛大に開催された。昨年と同様に応援や一般の方々が気軽に参加し楽しめるように、ウォーキングの部や当日受付のコースの開設や、車椅子体験、親子忍者体験教室、トマトパスタ早食い競争などのイベントも行われた。

日高村の自然や人情、味を堪能していただけたことと思う。

開催にあたり多くの企業の方々による協賛、ボランティアの皆様による運営、沿道での村民の方々による応援によって盛大に挙行された。各地の大会に出られている参加者からの声も好評であった。

今後も、より多くの方々の参加が得られる人気のある大会にしていきたい。支えていただいた皆様に感謝とお礼を申し上げます。

栄えある受賞

村表彰を行い、33年の永きにわたり消防団業務にご活躍された、矢野茂富様に功労表彰を贈らせていただいた。

また、これまで多額の善意のご寄付を頂いた松岡秀直様に善行表彰を、そして、青少年への育成ボランティアとして永年ご活躍いただいた山下忠一様、消防団員として永年ご活躍いただいた坂東国雄様に感謝状を贈呈し、その功を称えました。

高知県中央地区消防操法大会へ出場の、消防団中央分団は優勝こそ逃がしたものの、高得点で堂々の準優勝に輝き、県内に日高村消防団の操法技術の高さをみせてくれました。

長い間の訓練を労うとともに、このたびの栄誉はご家族の方々のご理解あつたればこそその偉業であると、心から感謝を申し上げます。これからも精進を重ねられ、住民が安全で安心して生活のできる地域社会の実現にまい進していただきたい。



日高村消防団中央分団

審議したこと 決まったこと

平成24年第4回定例会(12月)

12月議会では承認2件、予算関係4件、条例関係5件、その他2件、議員提出議案5件、請願・陳情3件の計21議案が決まった。

条例

◎高知中央西部焼却処理事務組合を組織する市町村の減少及び高知中央西部焼却処理事務組合規約の変更に
ついて

中央西部焼却処理事務組合の構成団体である高知市(旧春野町分)が平成25年3月31日をもって脱退すること
が、構成団体で合意が成されたことから、同組合の規約の変更を行うもの。

◎高知中央西部焼却処理事務組合から高知市が脱退することに伴う財産処分について

高知市の脱退に伴う財産処分は同組合に帰属させる。

◎日高村福祉館設置条例の一部を改正する条例

東部福祉館改築移転に伴い地番を変更し、名称を「日高村下分ふれあいプラザ」に変更し、合わせて西部福祉館も「日高村本郷ふれあいプラザ」に変更を行うもの。

また福祉館の設置目的を規定している根拠法令の「社

会福祉事業法」が「社会福祉法」に改正されたことによる一部改正。

◎日高村共同作業場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

下分第3共同作業場の取り壊しに伴い同条例の作業場一覧表より削除する。

質疑

問 第一住宅の条例削除をしているか。

答 第一住宅については、条例でなく規則で定めている。

◎日高村新型インフルエンザ等対策本部条例

新型インフルエンザ等が発生した時は、基本的対処方針に基づき、自らの区域に係る対策を的確かつ迅速に実施し、当該地方公共団体の区域において関係機関が実施する対策を総合的に推進することが求められており、条例制定を行う。

質疑

問 平成25年の5月11日ま

でに間に合わしたらいいと理解すればいいのか。
答 平成24年4月27日に成立し、5月11日公布、この公布の日より1年以内
に施行されることになっており、活動計画等については、今後、国・県で示されてくると考えている。

予算

(△印は減額)

◎平成24年度日高村一般会計補正予算(第6号)

歳入歳出それぞれ2億5千745万円を追加した。

主な歳入

負担金749万円、国庫負担金402万円、国庫補助金3千537万円、県負担金750万円、県補助金5千85万円、衛生費補助金△71万円、農林水産業費補助金5千21万円、土木費補助金280万円、教育費補助金△30万円、寄付金51万円、基金繰入金1億5千154万円、村債△30万円。

主な歳出

総務管理費4千513万円、基金費4千万円、徴税費25万円、社会福祉費1千379万

円、児童福祉費239万円、保健衛生費△34万円、農業費1億3千431万円、林業費37万円、道路橋梁費5千714万円、河川費560万円、住宅費△151万円、消防費485万円、教育総務費△25万円、地域教育費21万円、地域スポーツ費50万円、公債費△515万円。

質疑

問 高架橋建設分4千万円の積み立ては、県と相談の上、見通しがいつの積み立てか。

答 地元の総意としての高架橋建設であり、村の振興対策特別委員会でも了承いただき、9月議会でも地元から要望があり、基金を早く積むことが重要ということを受け、12月議会に提案させていただいた。

問 建設案で答弁があったように、県道改良が35年までかかるが、そのことを頭において基金を積み立てるのか。

答 最終的に35年まで県道改良がかかるが、時代が随分と変わってくるので、

当然に地元調整も含め努力をし、なるべく早くなるよう努力は続けなければならぬ。

問 ふるさと納税の予定が6件計上されているが、確実にしているか。

答 また、福祉避難所の備品は4カ所と同じ物を置くことになるのか。

答 6件の予定と書いているが、5件の方については既に頂いているし、残りの1件の方については正規の申請書という形で頂いている。

また、福祉避難所の備品については、4つの事業所に基本的同じものを実施する。

問 ふるさと納税について、村もどんだん県外に行かれています、村外におられる方にアピールして増やしていく取り組みをしてはどうか。

答 平成22年から現在までに9人の方からご寄付を頂いており、昨年度は茂平マラソンでパンフレットの中に、チラシを入れさせて頂いた。

本年度はパンフレットが足らなく、実施できてい

ないが、いろんな県人会に村長・議長が出向いており、そのような機会を捉えてパンフレットを渡しながら、ぜひお願いもできたらと思っています。

◎平成24年度日高村国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

歳入歳出それぞれ33万円を追加した。

主な歳入

繰入金12万円、基金繰入金21万円。

主な歳出
総務管理費12万円、後期高齢者支援金等3万円、償還金及び還付加算金18万円。

◎平成24年度日高村簡易水道特別会計補正予算(第3号)

歳入歳出それぞれ142万円を追加した。

主な歳入

繰入金△34万円、雑入176万円。

主な歳出
施設費210万円、公債費△68万円。

◎平成24年度日高村介護保険特別会計補正予算(第3号)

歳入歳出それぞれ0円を追加する。

主な歳出
介護予防事業費の予算組み替え。

その他

◎村道の路線認定及び廃止について

道路台帳の見直しに伴い新規路線に山ノ神3号支線、戸梶川調整池の整備に伴い調整池の一部となった程岡澗川線を廃止するもの。

◎日高村立東部福祉館改築工事の請負契約の変更について

請負金額を13万8千200円増額。工期を31日間延長し平成25年2月15日までとする変更を行う。

質疑

問 地盤改良に伴うセメント安定処理と残土処理の設計変更は、事前調査が不十分だったために生じた

事態か。

答 当初は、ボーリング調査の結果から埋め戻しが実施できると考えていたが、軟弱性が強く床に沈下のおそれがあるとのこと、セメント安定処理を実施した。

問 土曜、日曜日の7時前に作業を行っており、地域住民から苦情が出たというようなことがあるが、事業主に時間設定を当然指導するべきと思うがどうか。

答 指摘の7時から実施していた状況も聞いて確認し注意した。また、人家が密集しているところでもあり、病弱な方もいるかと思うので、今後指導徹底していく。

問 軟弱地盤だけで工期が1カ月延長は非常に考えられ

ないが。答 水道管の耐震性の材料が、東北の地震等の関係で入りにくい状況もあり1カ月の延長をさせていただいた。



建設中の日高村下分ふれあいプラザ

平成24年度12月議会

議員提出議案

アスベストによる健康被害の救済と対策を求める意見書

体制と補償を充実すること。

アスベスト製品を過去に製造していた企業の従業員や家族、工場周辺の住民が、アスベストによると思われる中皮腫や肺がんで死亡した事例が相次いで報告されている。よって国におかれては、国民の安全を確保し、被害の拡大防止、患者救済対策などを進めるための包括的な取り組みを求めるため、次の事項について早急に実施するよう強く要望する。

4. 社会福祉施設、医療機関、学校等、多数の住民が利用する公共・民間建築物のアスベスト除去を促進するため、助成制度や融資制度等の支援措置を早急に講じること。

1. 「石綿による健康被害の救済に関する法律」を改正し、指定疾病を拡充すること。

提出議員 森下雅文、岡本、尾崎、戸梶、壬生

2. 検査・医療体制の確立を急ぐとともに、そのための費用等について必要な措置を講ずること。また、検査費用の補助等も同様とする。

安全・安心の医療・介護実現のための夜勤改善・大幅増員を求める意見書

内容

安全・安心の医療・介護実現のための夜勤改善・大幅増員を求める意見書

3. 被災労働者の家族や工場の周辺住民の健康管理

内容

安全・安心の医療・介護実現するための夜勤改善・大幅増員を求める意見書

超高齢社会を迎えて、介護を担う介護職員の不足は深刻で、離職者が依然として高い状況が続いており、介護事業者は介護職員の確保に苦慮しています。「介護崩壊」を食い止め、安全・安心の介護を実現するために、介護職員確保に向け、賃金改善などの処遇改善が不可欠です。

安全・安心の医療・介護実現のための夜勤改善・大幅増員を求める意見書

安全・安心の医療・介護実現のための夜勤改善・大幅増員を求める意見書

安全・安心の医療・介護実現のための夜勤改善・大幅増員を求める意見書

安全・安心の医療・介護実現のための夜勤改善・大幅増員を求める意見書

安全・安心の医療・介護実現のための夜勤改善・大幅増員を求める意見書

安全・安心の医療・介護実現のための夜勤改善・大幅増員を求める意見書

安全・安心の医療・介護実現のための夜勤改善・大幅増員を求める意見書

安全・安心の医療・介護実現のための夜勤改善・大幅増員を求める意見書

安全・安心の医療・介護実現のための夜勤改善・大幅増員を求める意見書

安全・安心の医療・介護実現のための夜勤改善・大幅増員を求める意見書

安全・安心の医療・介護実現のための夜勤改善・大幅増員を求める意見書

金改善などの処遇改善が不可欠です。

安全・安心の介護実現のための介護職員の人材確保を図るため、国に要望する。

1. 介護職員処遇改善加算を2015年4月1日以降も継続すること。

2. 介護職員処遇改善加算の対象職員を介護職員以外の職種にも拡大すること。

提出議員 矢野孝明、西川、野村、森下(芳)

全員賛成 可決

決まったこと

陳情・請願

○アスベストによる健康被害の救済と対策を求める意見書提出の陳情

提出者 なくせじん肺全国キャラバン高知事務局

代表 山本 桓

全員賛成 採択

○安全・安心の医療・介護実現のための夜勤改善・大幅増員を求める陳情書

提出者 高知県医療労働組合連合会

執行委員長 野瀬 貞暁

全員賛成 採択

○介護職員処遇改善加算の継続、拡充を求める陳情書

提出者 高知県医療労働組合連合会

執行委員長 野瀬 貞暁

全員賛成 採択



閉会中の委員会活動報告

総務常任委員会



委員長 森下芳文

て説明があり、4件の申請が提出されており慎重審議の結果いずれも承認した。

総務課長より

専決処分について報告があり、村道認定について説明を受ける。

最後に総務課より今回の選挙について補正の説明を受ける。

視察研修について

当初は長野県下条村を予定していたが受け入れが整わず、同じ長野県の小海町、宮田村、下諏訪町の3町村を視察した。

地域担当制は参考になる取り組みであった。宮田村は昭和の合併で隣接の町と一度合併をしていたが解消して、自立、自律を目指して取り組んでおり参考になった。

最後の下諏訪町では、未来議会という取り組みを中学生、高校生が行っており大変勉強になった。

もう一つ参考になったのは、優遇措置として減免制度でなく還付制度であった。

議員協議会

○12月10日

全員協議会を開催したなかで、総務常任委員会行政視察研修中に私が発言したことについて、同僚議員から指摘されましたこと対しまして、この場で陳謝したいと思えます。

今後は、このようなことがないよう気を引き締め議会活動にまい進する所存です。



総務常任委員会視察研修



経済建設厚生

常任委員会



委員長 壬生豊秀

11月28日

1. 沖名残土処理場の廃棄物等混入問題について、住民の要請に基づき、最上段の天端を5メートル四方深さ1メートルの試掘を、残土処理場調査協議会が実施した。その結果、工事現場から持ち込まれたと思われる廃棄物が確認されたが、通常の工事をすれば多少の差はあるが十分あり得るやむを得ない範囲内のもと言えないのではないかと。

今回の試掘によって疑念は大体払拭できたと当委員会は判断する。執行部は、速やかに検討をして、早い処理をするように取り組まれ、事業が停滞することなく、完成に向け

11月28日
委員長より
第1回表彰審査会の報告、視察研修について文書で報告。
各課からの報告
健康福祉課長より
条例の改正2件と制定1件。
教育長より
茂平マラソンの状況を報告され参加者は1468人であった。
住民課長より
補正予算について説明を受ける。
総務課長補佐より
村有財産の払い下げについて

て進捗するよう県に要請することを求め要望書を村長に提出した。

2. 水質検査(2カ所)した結果は、工場排水の基準、また河川汚濁にかかる環境基準値においても問題はない数値であるが、天然にないフェノール類が検出されたことから再度検査をしている。

委員会研修について

南東北の被災地の視察研修を11月7日から2泊3日の日程で行った。

災害・地震等に対していろんな想定をし、訓練をしておくというのが大事だということを実感した。

先代の人たちよりいろんな教訓を受けているにもかかわらず、まさか自分はこの思いが未曾有の被害の一因になったと思われる。

これからの一つ、住宅はもちろん、重要な施設等は高台に作るなど、可能な限り防災対策を進める必要性を強く感じた。



経済建設厚生常任委員会視察研修

**復興対策
特別委員会**



委員長 岡本光男

産業環境課長
さんさん市の実施設計を県の産業振興推進総合支援事業のステップアップ事業で、100万円の補助金を受け設計業者と契約し取り組む。

大規模改修検討委員会を、設計業者、県のアドバイザー、出荷者協議会、消費者、生産者等で立ち上げ、これまで5回開催し、完成後の運営、具体的な詳細設計づくりに取り組んでおり、産業振興総合補助金申請を行い、審査会に合格すれば、2月中頃に交付決定になる見込み。それを受け、3月には入札し工事着手に向け取り組みたい。

東側の用地を購入できれば、仮設の店舗を建て、改修することになる。

建物自体が大きな目印になると考えている。

委員からは、今後の展望について、農家も高齢化になっている中、安定した商品確保ができるのか、営業時間も検討してはどうかとの意見があった。

建設課長

村営住宅新築工事の建設戸数は9戸とし、プラス1については今後検討する。

既存の村有用地を活用し3カ所に分散する。

高架橋建設の沈下橋の取り扱いについて、県道路課は交付金利用により、建設するのであれば、既存の沈下橋の架け替えが大前提となるが、旧橋の撤去を義務付けるものではない。

河川課は、河川管理の原則として、生活道を整備するのであれば新橋の設置許可は、撤去が条件となるが、維持管理上の課題を踏まえた上で、文化的な観点

などから、地域で合意形成が行えるのであれば存置することは可能。

総務課長

9月議会の委員会で、地の要望である高架橋建設のための基金を早く積み立て、今議会に基金を積み予算を計上したい。本年より5年間、2億円という事で計画をしている。



さんさん市イメージパース

公害対策

特別委員会



委員長 西川龍子

11月29日9時より

担当課長、全委員出席のもと開会、担当課長より4点の状況報告を受けた。

1. 10月20日、第2回仁淀川一斉清掃を実施、波川の親水公園で約1時間、日高村より21人の参加のもと実施し約400kgのごみ回収を行った。今後は屋形船の件もあり、村内での活動も考えている。
2. 11月10日第3回あったか高知おもてなし一斉清掃を小村神社や小村神社前駅周辺等18人の参加のもと約1時間で軽四トラック1台分の回収を行った。
3. 11月20日、21日の2日間、JR日下駅前銀杏の剪定と伐採作業をJR委託

業者により実施、今後の管理責任等、JRと協議検討していく。

4. 西田林道に大量の不法投棄があった。山間部でもあり12月補正予算に処理委託料を計上し処理する。

その他では、残土処理場について、質問、要望があり、担当課長より再度内容を詰めて、県の見解を示してもらったこととして会議を閉会とした。



剪定された日下駅銀杏

ピロリ菌検査の導入実施



西川龍子議員

一般質問に4氏が立つ

質問 近年、胃がんとピロリ菌との関係が解明され、ピロリ菌の除菌による胃がんの発症率の減少に大きな期待が高まっている。

検診時の採血でピロリ菌検査ができるため、実施する自治体もある。胃がんは年間約11万人が死亡。日高村でも、住民の命と健康寿命を守り、医療費削減の観点から、ピロリ菌検査の早期導入を行うべきと思うが。

答弁 川村健康福祉課長

ピロリ菌検査の導入については、3月議会、6月議会と質問を頂いている案件で、何度か導入に向けて総合保険協会に依頼していたところ、11月末頃に来年度の総合健診から自己負担額1千700円で実施できるとの回答が届いた。四国の第1号として来年度より実施する。

入試制度の見直し

質問 県立高校入試制度が、2014年度、遅くとも2015年度より、受験生が市内に集中することを防ぐため、制度の変更を検討している。1次試験で定数の100%を募集。2次試験では定数に満たない、希望の少なかった高校を受験することとなる。

現在、高知市や南国市、松山市等で、大学生をボランティアとした学習塾を県の補助で実施し好評を得ている。

日高村でも希望者全員が参加でき希望する高校受験に合格できるよう、学力向上と全員合格を目指す、このように有利で経済的負担のない日高村独自の学習塾はできないか。

答弁 金子教育長

現在、日高中は、国の事業を利用して、放課後や長期休業中に、全員合格を目指し学力向上に取り組んでいる。学習塾は、

一定の要件が必要となるが、子どもたちの学力向上や進路保障につながる大変有意義な事業であり、平成25年度からの実施に向け、どのようにすれば良いのか検討していきたい。

学校での安全対策

質問 揺れる前に避難行動と、須崎小学校では、アラート受信端末を校内放送機器に接続することにより、緊急地震速報が瞬時に自動的に校内放送でき、校内どこにいても自分の命を守る行動ができる。

子どもの命を守るため、村内の小中学校、保育園等に設置すべきと思うが、その後の経過は。

答弁 戸梶教育次長

業者に問い合わせた



日高村放課後学習室

ところ、技術的には可能であり1個当たり50万円程度と聞いている。消防庁は、平成24年度から災害情報伝達手段の多様化実証実験を進めており、この中でIP告知放送端末と校内放送との連携について実証実験を予定している。その結果により、成果、課題等、一定整備され報告があると思う。それに基づき、経費も含め総合的に検討したい。

沖名残土処理場 口先だけの法令遵守

じゅんしゅ



森下芳文議員

質問 県行政は、例の談合

問題で法令遵守ということが叫ばれている最中に、踏み込んで判断をしない。

「5カ所それぞれの地中から廃棄物が排出されたこと、廃棄物は土のう袋及び木片であったことが確認されました」という事実を述べているだけだが村長はどう考えるか。

答弁 戸梶村長

所管である環境対策課の今回に対する見解を聞きたかったが事実を述べたに過ぎない。

自分としては県の考え方を、どうしてああいいうような形になったのかとい

うことも含めて、副村長、担当課長に聞かせたが、あれ以上のことは書けないということ、再度の文書提出に至っていない。

県は村に

責任転嫁

質問 踏み込んで判断しようとしたら、不法投棄とい

わざるを得ん。だからこれ以上書けない。その経過を如実に物語るものが、西土木所長の「村が判断してください」日高村村議会の経済建設厚生常任委員会における発言。

この事態は、村は地権者として不法投棄を告発せないかん立場ですよ。違いますか。

答弁 戸梶村長

不法投棄という考え方はなくて、廃棄物の不適正処理というところからえ方です。

無責任な 県の環境行政

質問 不適正と不法とは全然違う。もともと事の起ころいは、掘削している時に、出てきている物を一定分類している事実も把握していたが、分類していた物がなくなったので、どうなっているか確認に現地に行ったら、8月4日の実態、廃棄物が散乱している事実が確認された。

これをもって不法投棄ではなく不適正処理。県の環境行政は無責任と言わざるを得ない。県とはどのような文書を交わしているか。

答弁 戸梶村長

平成14年に伊野土木所長と村長と確認書を交わしている。

日下川の広域河川改修事業に伴う残土の処理と公園事業、残土をもって用地を造成して公園を造る。

工事のストップは 県と業者の責任

質問 工事が遅れるというが、その原因を作ったのは、発注者の県。住民が勝手に入り込んで工事を妨害したことは何らない。今回問題になっているような事態を引き起こしたのは、発注者である県、それを請け負った業者。その点、村長はどうか。

答弁 戸梶村長

最大の原因は県とそれを請け負った業者にあるという認識を持っている。

安全性について 最善の努力を

質問 安全性について最善の努力を求める。

答弁 戸梶村長

県も十分認識されていますし、我々も十分認識をしている。引き続き安全性について検証していく。



沖名残土処理場



森下雅文議員

村財政について

質問 仁淀川の神母樋門上流部の河川敷を、親水公園にする考えはないか。

答弁 戸梶村長

可能かどうか、国土交通省等に聞き合わせたい。

生活保護の実態について

質問 生活保護の受給実態は。

答弁 川村健康福祉課長

23年度は74世帯108人、24年度6月で71世帯104人。

質問 受給者への自立と就業支援の状況は。

答弁 川村健康福祉課長

自立のケースは、22年度4件、23、24年はそれぞれ1件。就業支援は福祉保健所の業務だが、村の保健師が橋渡しをするケースなどがある。

村財政について

質問 財政シミュレーションの進捗状況は。庁舎建て替え、村立図書館の見通しは。

答弁 片岡総務課長

仮に、庁舎や図書館を

25年度から、高架橋を28年度から実施すると試算した場合、一時的には財源不足を生じるが基金等を活用すれば可能ではないかと考える。なお、前

程条件として補助金や起債等が確保されるときもに今後の交付税等の変動などの不確定要素もあり、予断は許さない状況ではある。また、今後、議員の皆さんなどと実施規模等の協議も必要で、それによりシミュレーションも変わってくる。

道路整備等について

質問 村道橋の長寿命化修繕計画は。

答弁 大川内建設課長

村道橋全てを対象にした修繕計画を策定中。

質問 日下橋交差点改良の東西延伸の見通しは。

答弁 大川内建設課長

東側については、地権者の協力は頂けると考えている。西側の延伸についても、

理解を頂けるように取り組みたい。

質問 村道大橋奥ノ谷線の国道出口の危険解消策を。

答弁 大川内建設課長

出口部分の幅員を拡げて、待機レーンを設けたい。

その他の質問

○観光資源の整備策定事業等ほか18件。



神母樋門上流部

くらし直撃 消費税増税



野村重夫議員

質問 野田内閣は、社会保障と税の一体改革を3党合意して、国会を解散した。しかし、社会保障の改革は全く示されないまま、消費税増税だけが決まっている内容だ。村長は、新聞社の調査に、消費税増税に賛成と答えているがなぜか。

答弁 戸梶村長

社会保障制度改革推進法は成立している。国民会議等で議論されて、今後の社会保障制度の在り方について議論。形が作られていく。

消費税は社会保障制度を安定的に維持していく

ための財源として位置付けられている。安定的な財源を確保するために、消費税の増税はやむを得ない。

質問 消費税を増税したら社会保障が安定するとう考えか。

答弁 戸梶村長

恒久的な社会保障制度を維持していくための経費としての消費税という位置付けという理解をしている。

質問 社会保障のためとして消費税を導入し、3%から5%に税率を上げ14年間で260兆円を超える消費税を集めたが、233兆円が大企業の法人税等の減税に使われている。

社会保障制度は、この間も、年金・医療・介護など改悪されている。

答弁 川村健康福祉課長
消費税5%に上げて社

会保障がよくなったということだが、高齢化社会を迎え、全国的に厳しい状況の中で、社会保障制度が維持されているという状況になかった。

厳しさが広がる 村民生活

質問 消費税が導入され、税率アップしても、社会保障制度は、今の課長の答弁のように後退している。このときに貧困層が拡大しているが、今度の3党合意での消費税アップで、さらに村民生活は厳しくなる。

高知新聞の県民世論調査では、消費税アップに反対が60・7%だ。

こういう状態の中で、村長が賛成するのはいかなものか。

答弁 戸梶村長

国民の生活に全て直結する。品目によって一定緩和措置が必要ではないかと思う。

質問 低所得者・高齢者対策が出されている。消費税実施の2015年度10月から基準額として月5

千円の福祉的給付措置を制度化する。対象は一介護保険制度の保険料軽減の低所得者区分2の範囲等を参考にして非課税世帯の年金80万円以下の高齢者に限定する」となっている。

現在の日高村では何人になるのか。

答弁 川村健康福祉課長
第2段階以下で年金の受給者からみれば約400人になる。



買い物風景

議 会 日 誌

11 / 1	31	30	28	26	25	22 / 24	21	19	15	11	10	9	7	6 / 7	5	3	10 / 2	3																																										
式 議長	高知県戦没者追悼 議長	農務組合監査 議長	仁淀川広域市町村 議長	例月出納検査 議長	交換会 議長	国会議員との意見 交換会 議長	トツプセミナー 議長	定期監査 議長	政視察研修 議長	総務常任委員会行 政視察研修 議長	村民体育大会 議長	会親睦体育大会 議長	高幡町村議会議長 会 議長	国保研修会 議長	国保研修会 議長	農業委員会 議長	議会議報編集委員 会 議長	仁淀川中央清掃事 務組合 議長	能津小運動会 議長	ふるさと土佐交流 会高知県人会近畿 連合会 議長	高知県人会近畿 連合会 議長	日高村表彰審査委 員会 議長	日高村表彰審査委 員会 議長	経済建設厚生常任 委員会 議長	経済建設厚生常任 委員会 議長	じん肺キヤラバン 議長	日高村福祉大会 議長	日高村表彰式 議長	農業委員会 議長	四国地区町村議長 会 議長	経済建設厚生常任 委員会行政視察研 修 議長	沖名調整池残土処 理場試掘調査 議長	13 / 16 全国町村議会議長 会 議長	全国大会・高幡町 村議会議長会 議長	例月出納検査 議長	ひだか茂平マラソン 議長	仁淀川広域市町村 圏事務組合議長 議長	定期監査 議長	総務常任委員会 議長	経済建設厚生常任 委員会 議長	日高村振興対策特 別委員会 議長	公害対策特別委員 会 議長	日高村めぐり大会 議長	高岡郡監査員協議 会 議長	農業委員会 議長	交通安全打ち合わ せ会 議長	「日高村障がい者の 日」のつどい 議長	日高村ボランティア まつり 議長	議会運営委員会 議長	仁淀川下流衛生事 務組合議会 議長	定例議会 議長	例月出納検査 議長	日高村・佐川町学 校組合議会 議長	定期監査 議長	仁淀川中央清掃事 務組合議会 議長	西バイパス鎌田く天 神間開通式典 議長	2月1日か らは、プロ野 球のキャンペ も始まりま す。	1年間戦え る体力を、開 幕までの2カ 月間に作りま す。ID野球 も、この基礎 体力づくりが なくては戦え ません。	村にとって も同様に、2 月は1年間の 税金の使い道 を決める新年度予算(案) を編成する大事な月です。 住民の要望にこたえて頑張っ てもらいたいものです。	そして3月は、この予算 (案)を審議する、議会が 開かれます。皆さんの生活 の向上と、地域経済が持続 できる可能性を目的にした 産業政策と雇用政策の推 進、それを基礎に農林業の 保護・自然エネルギーの活用 を位置付ける。地域経済づ くり役に役立つ公共事業等、 村民の立場に立つてしっかり 審議してまいります。

編 集 後 記

門松もとれ、正月気分も抜けて、忙しい毎日が戻ってきましたが、いかがお過ごしでしょうか。1月はいぬる・2月は逃げる・3月は去ると言われ、特に、この3カ月は慌ただしく過ぎていきそうです。



花(ロウバイ)

今年も全力で頑張ります。
次回議会は、3月8日(金)10時に開会の予定です。
お気軽に、傍聴にお越しください。

「日高村議会だより」は、資源保護のため再生紙を使用しています。